

平成29年度 学校関係者評価報告書

大阪市立聖和小学校学校協議会

1 総括についての評価

最終評価を見る限り、本校教職員が力を合わせて取組を進めていることがうかがえる。学力や体力、社会性の育成についても、一朝一夕に向上が見られるとは考えづらい。向上しているのは数値からもわかるので、継続して取組を進めていただき更なる向上を期待する。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

取組内容①については、児童の発達に応じたSSTに取り組んだり、参観で道徳の授業を行ったりすることで、児童の資質の向上とともに、家庭への啓発にもなっている。きまりを守ることは絶えず言葉かけをするなど、継続的に取り組むことで児童の気持ちにも変容が見られると考える。取組内容②については、月に一度生活指導部会を開くことで、全教職員が懸案事項を共有できる。また、臨時でも部会を行っているので対応も早くできると考える。取組内容③については、定期的実施しており、事案によってはその都度会議を行うことで取組内容②と同様、早期の対応が期待できる。

年度目標：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

取組内容①については、3～6年で習熟度別授業を行うことで、児童の評価テストの点数の向上がみられたり、授業中の発言回数が増加したりしていると聞いた。いずれも、学習内容を習得しづらかった児童が内容を理解でき、主体的に授業に参加しようとした結果であると考え。今後も続けてほしい取組である。取組内容②については、学習サポーターにより実験準備にかかる時間に余裕ができ、多くの児童が実験における操作活動ができた。知識の獲得だけでなく、実際に操作することが大切であると考えるので取組としてよかったと考える。取組内容④⑤については取組を継続したことで意識化が図られていると思う。

年度目標：その他

取組内容①については、研究授業も数多く行い、子どもの学びを深めるのに役立ったのではないかと考える。特に、話し合う活動を重点として取り組むことで、自分の考えを上手にまとめたり、わかりやすく伝えたりする児童が増えたことがアンケートの数値を見てもわかる。今後も継続して取り組むことが必要である。引き続き、実践を進めてほしい。取組内容②については若い教員が増えていると聞く。教員の授業力の向上を進めてほしい。取組内容③については、ICT機器を活用し、児童が主体的に活動できるようにしているのはよい。教員がICT機器を活用し、わかりやすい授業を展開することはよいことだが、あくまでICT機器は道具であるので、機器を使うことが主になるのではなく、考えを深めるために、考えが伝わるために、いかに児童が効果的に活用できるようにするかという点も大切である。

3 今後の学校運営についての意見

「いじめ」事案等、毎月調査を行うなど、早期対応に努めている点は素晴らしい。今後も続けてほしい。児童が安心して学校生活を送れるように、これからも尽力してほしい。